

1月医療安全ニュース

2026年1月15日 あおもり協立病院 医療安全管理室

いつもインシデント入力して頂き有難うございます。

警鐘！

「W-ED チューブ取り扱い注意」

★W-ED チューブ（経鼻経腸栄養用 胃内減圧用ダブルルーメン）について紹介します。

W-ED チューブは内腔が2つに分かれています。1つは胃内で側孔が開いており、ドレナージや胃内の減圧が可能（A）です。もう一つは、十二指腸以降にチューブがあり、経管栄養を実施（B）することができます。

注：チューブ接続部は、安全上用途以外のモノが接続できないような構造になっています。

使用する際は、用途を理解し正しい使用方法で行いましょう！

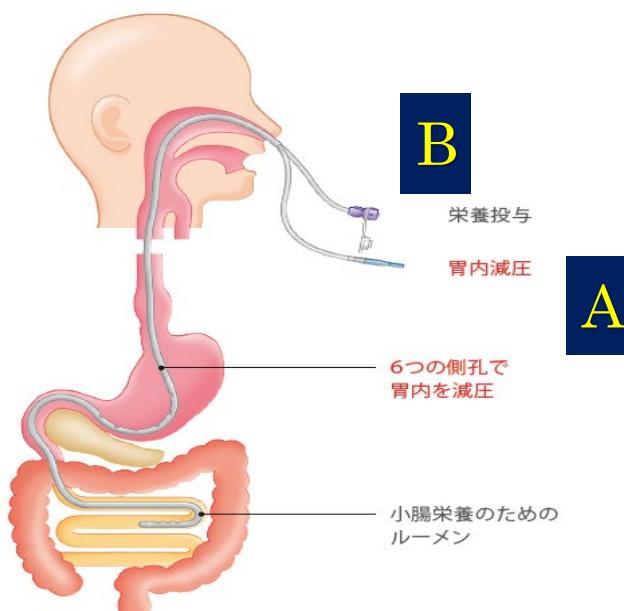


W-ED チューブ

栄養投与と胃内減圧が同時に出来ることにより
早期経腸栄養に対応

- 可塑剤（DOP）を含まない無可塑剤ポリ塩化ビニル製です。
- 無可塑剤ポリ塩化ビニル製のチューブは留置中に固くなりにくいチューブです。
- チューブ先端の3つの側孔を十二指腸または空腸に、中間の6つの側孔部分を胃内に留置することで、経腸栄養投与と胃内減圧/洗浄が同時に可能です。
- X線不透過のセンチネルライン™によりX線確認が可能です。

W-ED チューブ				
カタログ番号	チューブ外径（mm）	長さ（cm）	側孔（先端部）	側孔（中間部）
2693-16	5.2(16Fr)	150	3	側孔数 6 先端からの距離40cm
包装：1本滅菌済 包装単位：10本／箱				
再使用禁止				
製品規格 一般的名称 : 消化管用チューブ 販売名 : W-ED チューブ 医療機器認証番号 : 225ABZX00182000 特定医療医療材料名 : 栄養カテーテル・経鼻用 特殊型 クラス分類 : II 管理医療機器				



★2021年度10月医療安全ニュースにて物品変更の経緯についても再掲載します。

変更に至る経緯：

医療現場では、各種チューブやラインを患者に接続しています。日本では少ないのですが、世界では点滴ラインと栄養ラインを繋ぎ間違えるという重大事故が発生しています。そのため、経腸栄養の誤接続防止をはじめとした医療機器に使用されるコネクタに関して、異なる製品分野それぞれのコネクタが接続できないよう国際標準化機構（ISO規格）に変更していくよう厚労省から全国に通達がありました。

何がどのように変わるの？



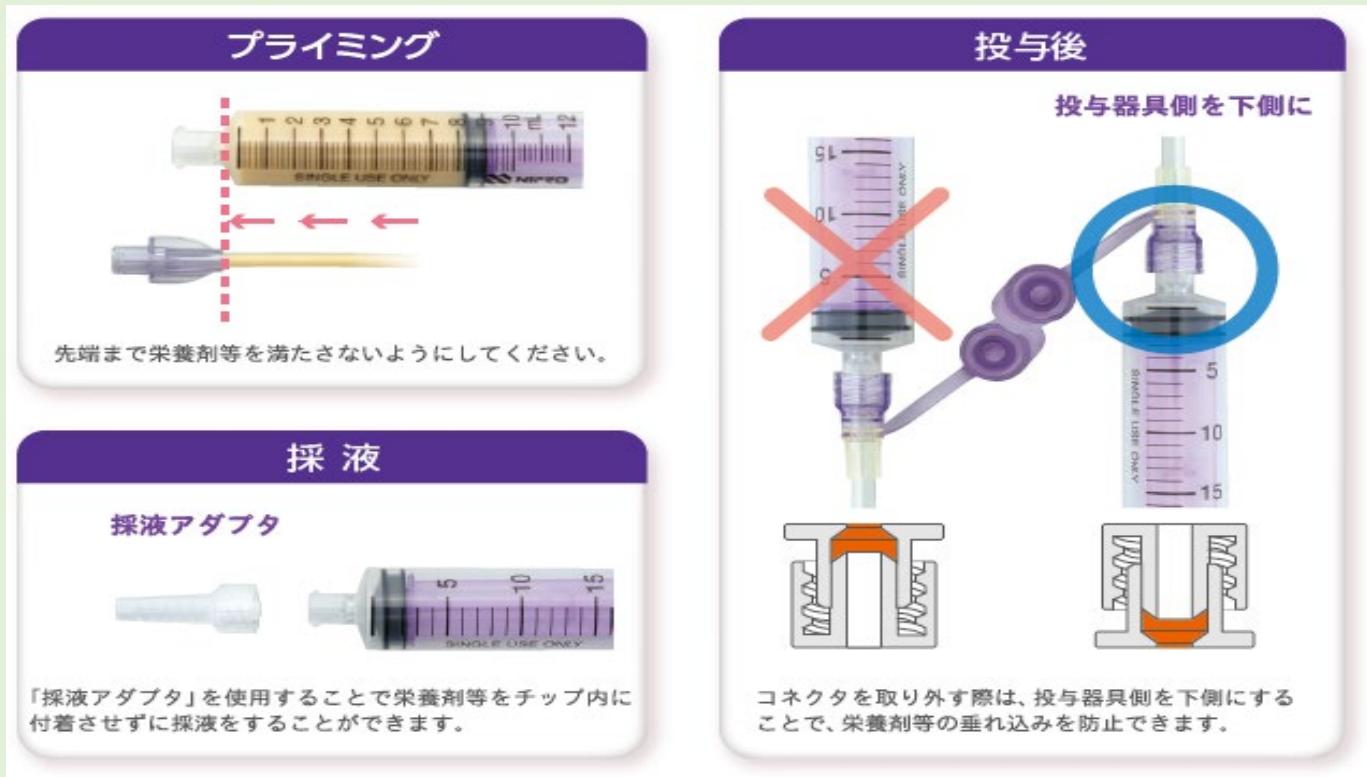
現在の胃ろう接続コネクタは差し込むだけ（写真下）でしたが、新規格のものは「ロック式」（写真上）になります。胃ろうのバルーンタイプ・ボタン式の接続コネクタ先端がロック式になります。そのため、既存のアダプタやシリングは接続できなくなります。

どうすれば良いの？

変換コネクタを接続すると従来のアダプタやシリングが使用できます。



シリングも変更になります。



他院でもこのような流れになっておりますので、新規格の胃ろうで入院する場合があります。そのため、ロック式のコネクタが付いている人と従来の胃ろうの方が混在することになります。用度管理センターでは両方に対応できるコネクタを準備していますのでご不明点がございましたらお知らせください。